

最低賃金はいますぐ

岸田首相は



最低賃金は
平均1500円にします
…2030年半ばには…

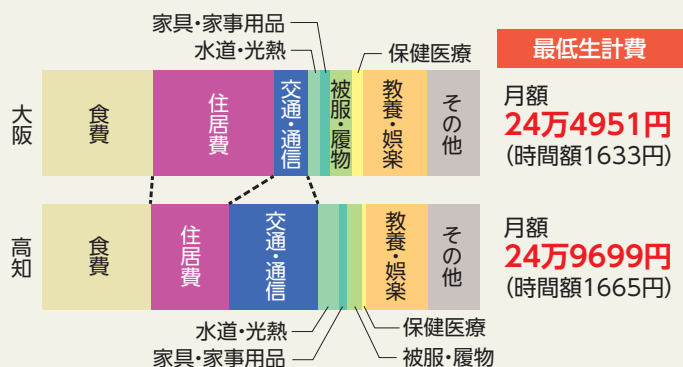
と言いますが

遅すぎる

それって
16年後!!

めざせ1700円

最低生計費は 全国どこでも変わらない



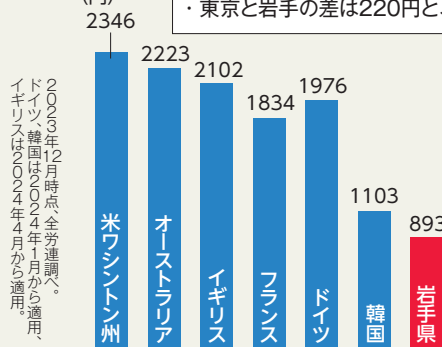
地域間
格差も
どうにかして

防衛費は
どんどん
上げるのに

全国27都道府県で約5万人が協力した“マーケットバスケット方式”による最低生計費試算調査によると、都市部では、住居費が高く、地方では交通費が高くなっています。その結果、人間らしくらせる最低生計費は、都市部でも地方でもほぼ同額なことが明らかになっており、全国どこでも月額24万円・時間額1,500円以上必要との結果が示されています。

日本の現状

- ・全国一律ではない
- ・1000円を超えるのは8都府県のみ
- ・東京と岩手の差は220円と、地域間格差が深刻



日本の最低賃金は
先進国では
最低ランクです

最低賃金 4・10 BIG ACTION DAY

4月10日は、全国の労働組合が「最低賃金いますぐ全国一律1500円、めざせ1700円」を求めて職場・地域で行動する日です。最低賃金について知りたい方はQRコードを。



だから、地域別から全国一律に

いますぐ



経済の地域間格差なくす 最低賃金法の改正が必要

日本の最低賃金は地域別に決められるため、最低額と最高額の格差は220円、15年で2倍に拡大しています。人口流出や経済の深刻な地域間格差を生んでいる不合理な仕組みです。地域間格差を解消し、世界であたりまえの全国一律制に是正させるには、最低賃金法の改正が必要です。全国一律にすることで、あまりにも低く抑えられている最低賃金の大幅な引き上げが実現でき、全国どこでも地域経済の好循環をつくる保障になります。